

氏名	小林 朋子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5039 号
学位授与の日付	平成 26 年 9 月 30 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科社会環境生命科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)

学位論文題目 The Bright Side and Dark Side of Workplace Social Capital: Opposing Effects of Gender on Overweight among Japanese Employees  
(日本人労働者を対象とした職場のソーシャル・キャピタルと過体重との関連における性差について)

論文審査委員 教授 大塚文男 教授 浜田 淳 教授 片岡仁美

### 学位論文内容の要旨

近年、職場におけるソーシャル・キャピタル（以下、SC）が社員の健康に及ぼす影響が検証されつつあるが、構成要素ごとの影響については十分な検証が行われていない。2012 年、大阪府内の企業の従業員 1050 人を対象とした SC の質問紙調査を実施し、健康診断結果と突合した。男性 624 人、女性 126 人を解析対象者とした。職場の SC の測定は 8 項目により評価し、構成要素により結束型、橋渡し型、リンキング型に分類した。過体重は、BMI (kg/m<sup>2</sup>) 25 kg/m<sup>2</sup> 以上を過体重として二値化した。共変量には、年齢、教育歴、職種、飲酒頻度、運動習慣、喫煙状況、睡眠時間、K6 を用いた。男女別に、ロジスティック回帰分析により粗オッズ比 (OR) と 95%信頼区間を求め、次いで共変量を調整した。男性では、職場の SC が高い場合に比べ、結束型、リンキング型が低い場合に約 2 倍の調整後 OR を示した。一方、女性でも、全体 SC とリンキング型において有意な関連を示したものの、調整後 OR は 1 を下回った。本研究では、職場のリンキング型 SC と過体重との関連において、男女で異なる関連が示唆された。

### 論文審査結果の要旨

本研究は、職場におけるソーシャル・キャピタルが、社員の健康に与える影響について検討したものである。本研究では、大阪府の企業における従業員 1050 人を対象として、質問調査を行い、健康診断結果と合わせて検討した。ソーシャル・キャピタルの測定を 8 項目により評価し、構成要素により結束型・橋渡し型・リンキング型に分類し、過体重 (BMI 25 以上) に着目し、変量として年齢・教育歴・職種・飲酒頻度・運動習慣・喫煙状況・睡眠時間・K6 を用い、男女別にロジスティック回帰分析によりオッズ比と 95%信頼区間を求め、共変量を調整した。男性では職場のソーシャル・キャピタルが高い場合に比べ、結束型・リンキング型が低い場合に約 2 倍のオッズ比を示した。女性では、全体のソーシャル・キャピタルとリンキング型において関連を認めたが、オッズ比は < 1 であった。本研究から、職場のリンキング型ソーシャル・キャピタルと過体重との関連において、性差の存在が示唆された。本研究は、ソーシャル・キャピタルと職場の健康の関連を結びつける新たな知見であると言える。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。